



2022年

1月

中国四国農政局  
島根県拠点

## 株式会社たじまや／みやざきサービス

～ 隠岐郡海士町（宮崎 雅也）～

みやざきサービス（宮崎雅也氏）は、島根県隠岐郡海士町で冬場には（株）たじまや代表として「干しナマコ」の製造、春から秋には農業、漁業の体験型による民泊の運営を行っています。

宮崎氏は、大学在学中に海士町との交流事業をきっかけに、卒業後、海士町にIターンして田舎暮らしを始めました。当初は、町内の民宿で働き、干しナマコの生産・加工にも携わり、結婚を機に独立、海辺の空き家を借り入れています。

体験型民泊を開業し、無農薬、無化学肥料の農業・漁業体験を提供する傍ら、農業体験付きホームステイプログラム「WOOOFウーフ」の受け入れも行なっています。

農業体験は、米作りや自家菜園での野菜作り、漁業体験では、刺し網や釣りなどいろいろな体験ができます。

令和3年からは、小さな田んぼで米の栽培をする「家庭水田」を広めたいとSNSにより呼びかけ、島内の4世帯が賛同し取り組んでいます。賛同者の中には、カレー専用品種（長粒種バスマティ米と短粒種の掛け合わせ）を栽培し、独自のニーズに対応している人もいます。

「食」の楽しみを通じ、Iターン者が取り組みやすい栽培方法を取り入れ、耕作放棄地解消の手段としつつ、働き方・生き方の多様性を確保したいという思いがあります。

一方、商品開発では、自家生産の「もち米」を原料とした「海士の本みりん 儘mama」を委託生産し、町内のホテルで販売しています。現在、自家生産した裸麦を原材料とした「麦茶」の商品化に向けて奔走されています。

宮崎氏は、「今後も、半農半漁の体験などを通して、循環型の農業を広めるとともに、地域住民の方々とのコミュニケーションを大切に、家族で島暮らしを楽しみたい。」と話されました。



宮崎 雅也 氏



海士の本みりん儘mama

## インフォメーション

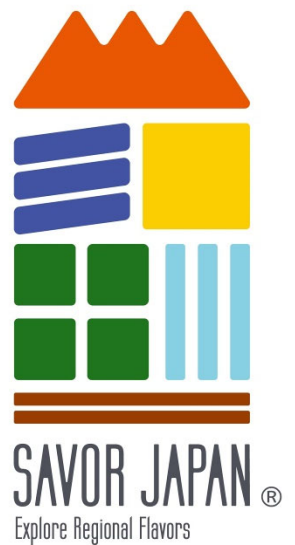
# 農泊 食文化海外発信地域(SAVOR JAPAN)「益田の歴史文化を活かした観光拠点づくり実行委員会」認定

農林水産省は、インバウンド需要を農山漁村に呼び込むことを目的として創設した「農泊 食文化海外発信地域(SAVOR JAPAN(セイバージャパン))」について、今年度は6 地域を認定しました。

「農泊 食文化海外発信地域(SAVOR JAPAN)」は、農泊を推進している地域の中から、特に食と食文化によりインバウンド誘致を図る地域の取組を農林水産大臣が認定し、その地域の食の魅力「SAVOR JAPAN」ブランドで海外に対して一体的かつ強力でPR することで、増加するインバウンド需要を農山漁村に呼び込もうとするものです。

今年度の地域に、島根県から益田市の「益田の歴史文化を活かした観光拠点づくり実行委員会」が認定されました。

(※SAVORとは、英語で「味わう、楽しむ」という意味です。)



詳しくは、こちらをご覧ください。(農林水産省ホームページ)

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/220113.html>

## 農作業安全の再確認について

(シートベルトの着用を厳守してください。)

令和3年12月に中国四国地域においてトラクター運転中の死亡事故が立て続けに2件発生し、3名の方が命を落とされました。関係者の方々には心からお悔やみ申し上げます。

公益財団法人交通事故総合分析センターが過去の事故を集計した結果、農耕車の公道走行時の事故死亡者数151人のうち、シートベ

ルト不着用者148人に対し着用者は3人と圧倒的に少ないことが分かりました。

農用運搬車、トラクターなどに乗車する際は、シートベルトの着用を改めてお願いします。



編集: 中国四国農政局 島根県拠点

〒690-0001 松江市東朝日町192

TEL (0852)24-7311(内線211) FAX (0852) 27-0641

〈農政局HP〉 <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>